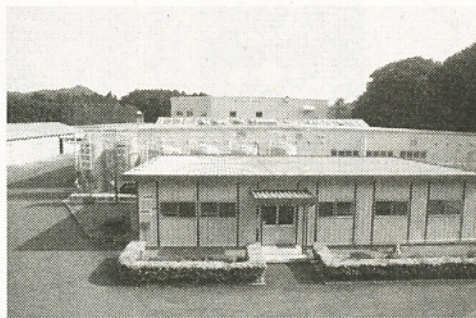


ソース類生産量

日光工場を増強

ユニオンソース 東日本



は現行の約2割に当たる約1080平方メートルを増床する。原料を炊きあげるための2トン釜を4基に倍増するとともに、4トン釜を2基を新たに導入す

また工場2階部分に見学コースを設け、小学生らを100人単位で受け入れられるようにする。投資額は4億5000万円程度を見込む。

ユニオンソースは東京都を中心に首都圏などどんかつやもんじゃ焼き用ソースを供給。05年にオタフクソースのグループ企業になり、オタフクブランドの焼きそばソースな

低圧で大量の微細霧

ノズルネットトワーク 独自機構ノズル開発

【神戸】ノズルネットトワーク(兵庫県丹波市、

麻川博良社長、0795・73・2300)は、

独自のノズル機構を採用し、空気圧0.01MPa・05MPaの低圧で、平均粒子径10μm-30μm(マイクロは100万分の1)の極微細の液体を、毎分100リットル以上噴霧するノズル「マイクロフォッグノズルCN型II号

真」を開発した。自動車のエンジン部品や液晶・半導体の薄膜製造工程など、さまざまな用途が見込める。12月末までにOEM(相手先ブランド)供給する計画。

開発したノズルは、液体と空気を混合して噴射する二流体ノズルの一種。空気の壁に液体を衝突させ、液体を直接微細に霧化させる。噴霧流速

は毎秒1μm以下で、到達距離が0.3-1μm程度と短いため、対象物にソフトに付着し、しずくの発生を抑制できる。ノズルは高さ50μm、直径20μmと、同社がこれまでに開発した二流体ノズルより半分以下に小型化する一方で、噴霧量は100倍以上に増加させた。

従来の噴霧装置は霧を微細化するため空気を高圧にしたり、複数の工程を経るなど、装置を大型にする必要があった。同社が開発したノズルは装置全体の小型化や低コスト化に寄与する。

オフィスをレンタル

FICSジャパン 低コストでVB支援

【名古屋】FICSジャパン(名古屋市中区、古川一郎社長、052・269・8623)は、

レンタルオフィス事業に参入する。2011年3月末をめぐりに名古屋市中区のビルの一フロアを賃借して会議室や個人用ブースを備え、低コストで利用できるレンタルオフィスを開発する。ベンチャー企業(VB)、中小企業の創業支援や経営支援のサービス強化につながる。初年度200社の会員獲得を目指す。

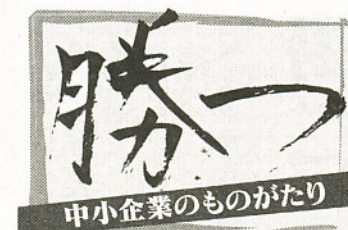
レンタルオフィスは面積360平方メートルで個人用ブース32席、会議室5室の規模。オフィスには社員が常駐し、外部から会員にかかってくる電話に対応するほか、FAXや郵便などの取り次ぎも行う。会員は個人用ブースと小会議室3室を無料で利用できる。通常、レンタルオフィスは会費とは別に会議室などを利用す

津根精機

1

津根精機は現在、丸鋸切断機で国内シェア60%を誇るトップメーカー。1963年に自社開発した弓鋸切断機の発売を皮切りに丸鋸切断機など、これまでに多くの切断機を開発し、モノづくり業界に貢献してきた。国内をはじめ、欧米、アジア諸国にユーザーを持つ。

ルーツ



津根精機は17年(大6)、津根良が富山市内に「津根良商店」を興し、乳母車製造を始めたのがルーツ。良は現社長の津根良史の祖父。「家の中でもよく仕事の話をしていた記憶がある。祖父はとにかく仕事熱心でアイデアマンでもあった」と良史は振り返る。